

大規模災害発生時における救援部隊の 駐車場確保に関する協定

11月24日(火)、狭山入間地区遊技業組合と狭山警察署が「大規模災害発生時における救援部隊の駐車場確保に関する協定」を結びました。



これは阪神・淡路大震災の様な大災害が発生した場合、早期に警察などの救援部隊を投入し被災者の救援、救助活動が行えるようその活動拠点や駐車場の開放要請を行うというものです。

協定締結式では、署員からの趣意説明の後、驚平狭山警察署長と狭山入間地区遊技業組合中島組合長が協定書への調印を行いました。その後、驚平署長が「阪神淡路大震災の教訓を生かし今回の協定を結ぶことになりました。この協定が使われないことを祈っていますが、使われる際にはガッチリ使い、怪我人を救い、命を救うというのをやっています」と挨拶しました。

第36回狭山市民柔道大会

11月22日(日)、狭山市民総合体育館で「第36回狭山市民柔道大会」が開催されました。



狭山市民柔道連盟の主催で毎年行なわれており、市内在住、在学、在勤者を参加対象としています。今回は幼稚園児から一般参加の大人まで137人が参加しました。

開会式では、狭山市民柔道連盟石川会長が挨拶に立ち、「今日は日ごろ道場で鍛えた技を十分に発揮していただき、立派な試合が展開されることを期待しています」と話しました。

その後、大会名誉会長でもある仲川狭山市長や多くの来賓が挨拶し、激励の言葉を述べました。

大会は小学生各学年の部・中学生男子各学年の部・中学生女子の部、高校生と一般参加者を含む高校一般の部に分けられ、各部門で熱戦が繰り広げられました。また狭山市の友好交流都市である、新潟県津南町からは22人の選手が参加、津南町の選手が同大会に出場するのは今年で9年目になり、柔道を通して、選手間と地域間の交流が図られています。

応援に訪れた保護者たちは熱のこもった声援を送り、会場内は歓声と熱気で盛り上がりを見せました。

冬の交通事故防止運動出陣式

11月26日(木)、狭山市役所で「平成21年度冬の交通事故防止運動出陣式」が行われました。

年末の交通量の増加により事故の多発が予想されることから、交通ルールの遵守と正しい交通マナーを実践し、交通事故の徹底を図る事を目的とし、埼玉県内では11月26日から12月14日まで実施されています。



県下統一の重点目標は、「飲酒運転の撲滅」「高齢者の交通事故防止」「早めのライト点灯」とし、市民一人ひとりに正しい交通マナーの実践を習慣づけることを目的としています。

この日は狭山地方交通安全協会をはじめとした市内の交通関係団体や、PTAなどおよそ80名が参加しました。

この日は狭山地方交通安全協会をはじめとした市内の交通関係団体や、PTAなどおよそ80名が参加しました。

狭山市民劇団ステッフ 第14回公演「未来泥棒」

11月21日(土)、狭山市民会館で、狭山市民劇団ステッフ第14回公演「未来泥棒」が上演されました。

狭山市民劇団ステッフは、平成7年に設立、狭山を拠点に活動している劇団で、現在、狭山近隣に住む18歳以上の団員18名が在籍しています。

公演は1年に1回程度のペースで実施されており、今回上演された「未来泥棒」は、劇団初のオリジナル脚本です。

ある日突然売れない劇団員に、「あなたの未来をくださいました」というカードが届く事から始まるミステリーで、何気なく過ごしていた時間の大切さや、人との係わりに気づくというストーリーです。

